

目標達成計画

作成日: 平成 27年 9月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念やグループホームの運営方針を掲示という形で職員に周知しているが、日々入居者様の支援をする中で、理念に基づいて援助をできている状況ではないことがある。	職員一人一人が法人の理念、グループホームの運営方針を理解することで、職員全員が共通した姿勢で入居者様の支援に取り組むことが出来るようになる。	・入職時に理念や運営方針の説明を行い、入職後も会議などの場で定期的に説明をすることで、職員一人一人が理解できるようにする。 ・理念や運営方針に沿った援助を提供できているか、ミーティングや会議にて振り返りを実施する。	3ヶ月
2	2	地域のふれあいのまちづくり協議会と連携をとり、運営推進会議に参加をいただいているが、地域との関わりに関しては祭りなどの行事に参加する程度。地域の方をホームに来ていただくなどの関わりは持っていない状況。	入居者様、職員が共に、地域の行事などに参加ができ、小学校や保育園等と相談をし、定期的な訪問をしていただけるようになる。また、ホームが地域の集まりの場になることができる。	・地域の保育園、小学校等と相談をし、定期的な訪問をしていただけるようになる。 ・地域の方にも参加していただけるような行事を定期的に開催をする。	3ヶ月
3	6	現在、直接身体拘束を必要とする入居者様はいないが、一人で外出をしようとして危険を伴う方がおられるために、ユニットの玄関には手で開けることができる鍵を設置している状況。	入居されている方の状況に合わせて必要な手段を講じ、安全な環境を提供できる。また、必要最低限の対応に努め、入居者様のストレスの軽減に努めていく。	・鍵などの直接的な施錠にとらわれず、解放時に感知するセンサーなどを利用することで、入居者様の安全を確保できないか、会議などで検討をする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。